

東京都市計画公園の 都市計画原案に関する意見書の要旨と区の方考え方

1 意見書の受付

令和7年11月20日(木)から12月11日(木)まで

2 意見書の提出者数

8名(郵送:0名、ファックス:0名、区ホームページ:8名)

3 意見の件数及び意見への対応

意見の件数・・・8件

項目	件数
都市計画原案に関する意見	4 件
その他の意見	4 件
合計	8 件

意見への対応

分類	件数
A 意見の趣旨を原案に反映する	0 件
B 意見の趣旨は原案の方向性と同じ	0 件
C 意見の趣旨に沿って計画を推進する	0 件
D 今後の取組の参考とする	4 件
E 意見として伺う	4 件
F 質問に回答する	0 件
G その他	0 件
合計	8 件

4 意見書の要旨と区の考え方

No.	項目	意見書の要旨	対応	区の考え方
1	都市計画原案	12月4日の住民説明会を傍聴しました。周囲約500mの公園とさくら公園隣の三角形の土地を合わせると富久公園の面積とほぼ同等ということで都市計画公園の指定から外すということでしたが、環状4号線と重なる余丁町児童遊園は道路建設によって約1000㎡が削減され、これの代替手段が全く考えられていません。代替手段がないまま富久公園が都市計画公園から外されています。富久町や余丁町の周囲はただでさえ緑が少なく上に、代替地の確保努力をすることもなく都市計画変更することは安易すぎるのではないかと。という理由で反対です。	D	ご意見は、今後の取組の参考とします。 今回の都市計画変更は、富久公園周辺地区における環状第4号線の整備と調和した災害に強く潤いある住環境整備を目指したまちづくりの実現に向けて、富久公園については真に整備実現が可能な区域への変更を行うとともに、その区域規模の減少を補い、富久公園周辺地区における緑の総量を将来にわたって維持するために、富久さくら公園ほか6公園を新たに街区公園として追加決定するものです。特定の公園の減少分を特定の公園で担保するという考え方ではなく、富久公園（当初計画約1ha）の全体面積をどうカバーするかという考え方に基づいています。結果的に、富久さくら公園の未整備部分などを新しく追加するかたちで、当初の富久公園の面積（約1ha）をほぼ充足する形となっています。その結果、余丁町児童遊園の道路で削除される部分が約900㎡であるのに対し、富久さくら公園東側の新しく増える部分は約1,080㎡であり、面積的には補填されています。 今回の計画は、富久公園と道路との重複という課題を解決するためのものであり、近傍での公園用地確保については、今後の課題として検討していきます。
2	都市計画原案	「都市計画公園」としては他にやり方がないと思うので、「消極的賛成」。ただし、さくら公園の東側元芸術の敷地の一部を公園にするという話ですが、区道が残るのは問題がありと思う。区道は行き止まりにできないという理由で残すなら、区道をずらせないので？利用者の多くは子供なので公園の中を区道が通っているのは、飛び出し事故につながりかねないと考えます。この部分については「原案に反対」。 ここからは意見ですが、今回の案は、上位方針に沿った、単に面積の帳尻合わせとしか思えない。もともと現存しない公園だからしかたがないとしても小さな魅力のない公園をかき集めても「公園が整備」されたとは思われません。 住民から見ると、近所にある公園が「都市計画公園」なのか「そうでないのか」は全くわからない。（今回の説明で初めて分かりました）なので一番気になる「余丁町・富久町児童遊園」が大幅になくなってしまふことの説明を聞きたかったのにそこが聞けなかったのが残念。 ただ、再開発と絡めて、まとまった公園（広場）がとれる可能性があるなら是非検討していただきたい。 既存の「余丁町・富久町児童遊園」が小さくなることについては、担当部署が違うのなら、担当部署の説明を聞ける場を設けて欲しい。	E	ご意見として伺います。 今回の都市計画変更は、富久公園周辺地区における環状第4号線の整備と調和した災害に強く潤いある住環境整備を目指したまちづくりの実現に向けて、富久公園については真に整備実現が可能な区域への変更を行うとともに、その区域規模の減少を補い、富久公園周辺地区における緑の総量を将来にわたって維持するために、富久さくら公園ほか6公園を新たに街区公園として追加決定するものです。特定の公園の減少分を特定の公園で担保するという考え方ではなく、富久公園（当初計画約1ha）の全体面積をどうカバーするかという考え方に基づいています。結果的に、富久さくら公園の未整備部分などを新しく追加するかたちで、当初の富久公園の面積（約1ha）をほぼ充足する形となっています。その結果、余丁町児童遊園の道路で削除される部分が約900㎡であるのに対し、富久さくら公園東側の新しく増える部分は約1,080㎡であり、面積的には補填されています。 環状第4号線の整備後のまちづくり等については、地域住民の方々が参加される「富久・余丁町南地区まちづくり協議会」において、議論がなされているものと認識しています。なお、当まちづくり協議会では、準備組合に参加していただき、再開発の検討状況を報告していただいています。

4 意見書の要旨と区の考え方

No.	項目	意見書の要旨	対応	区の考え方
3	都市計画原案	説明会資料では、近隣の公園を都市計画公園に変更する事により、該当地区の都市計画を解除する案である事が伝わらないです。十分な説明がされていない状況とします。本来、まちづくり協議会で地元にとって望ましい姿を地域の方とともに検討してから、決定してほしいです。若松地区は、今回同様の進め方をされた為、まちづくりの観点が抜けてしまったものと認識しました。当地区もこのままの状態で、幹線道路だけでできてしまうことが不安です。	E	ご意見として伺います。 富久公園の区域を削除することについては、平成26年度のまちづくり協議会公園部会で検討され、区域の削除と周辺公園で代替させていくという方向性を示しています。 環状第4号線の整備後のまちづくり等については、地域住民の方々が参加される「富久・余丁町南地区まちづくり協議会」において、議論がなされているものと認識しています。
4	都市計画原案	環状4号線整備のため、今回の都市計画公園を変更することは仕方がないと思うが、その変更案には反対である。資料から、既存の公園を都市計画公園としているが、それでも当初計画より約0.1haが減少している。また、そもそも緑地を増やすという計画もあったと思うが、さくら公園以外は緑地が多いとはいえない。なおかつ、昔からあった極身近な広い公園が失くなることに對して、新宿区は住民の嘆きや喪失感を実感できているように思えない代替計画であることが、甚だ悔しく、やるせない。 まちづくり協議会の説明会にも参加したが、公園計画は良好な住環境というまちづくり創出の一環として非常に大事な役割を担っているにもかかわらず、両者の連携や情報共有が緊密ではないと感じ、非常に危機感を覚えている。 台町すみれ公園やかわだ公園のような小さな公園が都市計画公園と言えるのかも疑問である。現在、当初計画地を含んだ一部地域で都市再開発の準備組合がある。実際に再開発がどうなるという懸念はあるかもしれないが、防災・防犯面向上、小学校以外の一時避難所や公園の確保ができるなど、住環境をより良くするための面から好ましい影響があるのは事実なので、そのような動きを積極的に利用・活用するべく、区としてしっかり取り上げてほしい。 東京都の区立公園の指導部門から、区がまちづくり協議会や地元を置き去りにしないよう、また、しっかり理解を促せるよう新宿区へ指導してほしい。 環状4号線を整備する東京都と都市計画公園を解除しようとしている新宿区は連携が図られているのだろうか、疑問である。若松河田方面の余丁町沿道は、空が広いと言えば聞こえはよいが、夏が非常に暑く歩くには相当無理のある道路である。小学校や幼稚園への通学路でもあるため、環状線沿いに歩きたくなるようなみどり溢れる道路づくり・まちづくりを示すべきである。	E	ご意見として伺います。 今回の都市計画変更は、富久公園周辺地区における環状第4号線の整備と調和した災害に強く潤いある住環境整備を目指したまちづくりの実現に向けて、富久公園については真に整備実現が可能な区域への変更を行うとともに、その区域規模の減少を補い、富久公園周辺地区における緑の総量を将来にわたって維持するために、富久さくら公園ほか6公園を新たに街区公園として追加決定するものです。特定の公園の減少分を特定の公園で担保するという考え方ではなく、富久公園（当初計画約1ha）の全体面積をどうカバーするかという考え方に基づいています。結果的に、富久さくら公園の未整備部分などを新しく追加するかたちで、当初の富久公園の面積（約1ha）をほぼ充足する形となっています。その結果、余丁町児童遊園の道路で削除される部分が約900㎡であるのに対し、富久さくら公園東側の新しく増える部分は約1,080㎡であり、面積的には補填されています。 環状第4号線の整備後のまちづくり等については、地域住民の方々が参加される「富久・余丁町南地区まちづくり協議会」において、議論がなされているものと認識しています。なお、当まちづくり協議会では、準備組合に参加していただき、再開発の検討状況を報告していただいています。
5	その他	再開発と連携して、公園面積の拡大と地域行事の継続について検討するべきではないか。準備組合としては公園を拡げていく検討をしている。	D	ご意見は、今後の取組の参考とします。 再開発については、現在、地元住民主体の準備組合が再開発の可能性を検討しています。今後、必要に応じて、準備組合と協議を行います。

4 意見書の要旨と区の考え方

No.	項目	意見書の要旨	対応	区の考え方
6	その他	環状4号線の整備によってまちの姿は変わるが、再開発の準備組合では公園の確保や、地域の防災性向上や、住環境をより良くすると思われるので区としてしっかり取り上げてもらいたい。	E	ご意見として伺います。 環状第4号線の整備後のまちづくり等については、地域住民の方々が参加される「富久・余丁町南地区まちづくり協議会」において、議論がなされているものと認識しています。なお、当まちづくり協議会では、準備組合に参加していただき、再開発の検討状況を報告していただいています。
7	その他	余丁町公園の目の前の家で生まれ育ち、親子3代慣れ親しんだ公園が縮小される事が残念でなりません。夏の盆踊りは、お祭り、子供達が楽しく遊べる広さの公園を新たに計画して欲しいです。近くのさくら公園では、お祭り、盆踊りはしていないので、この辺りからそういった行事をする場所を作ってください。さくら公園の東側に小さい公園が出来るとききましたが、道を挟んでの公園はとても危険です、安全にのびのび遊ばせられる、町内会の行事ができる広い公園を作ってください。	D	ご意見は、今後の取組の参考とします。 今回の計画は、富久公園と道路との重複という課題を解決するためのものであり、近傍での公園用地確保については、今後の課題として検討していきます。
8	その他	余丁町公園で子供を遊ばせたり、年に2回のお祭りに参加していました。なので同じような公園を作って欲しいです。また現在ある公園も含め公園内とその周辺（路上喫煙）も禁煙ということを周知徹底し、パトロールも強化していただきたいです。トイレも躊躇することなく利用できるよう、美化に努めて欲しいです。	D	ご意見は、今後の取組の参考とします。 今回の計画は、富久公園と道路との重複という課題を解決するためのものであり、近傍での公園用地確保については、今後の課題として検討していきます。 なお、余丁町児童遊園及び富久町児童遊園のうち道路予定地返還後の残地については、引き続き盆踊りなどの行事に利用できるよう、本年度、広場主体の公園として暫定的な整備を行っています。さらに、環状4号線開通後、地域の皆さまのご意見を伺いながら、あらためて同敷地において公園の本整備を実施する予定です。 また、区立公園は、原則全面禁煙としていることから、各公園へのマナーボードの設置により注意喚起を行うとともに、職員による巡視において喫煙行為を確認した際に注意、指導を行っています。路上喫煙についても、パトロール員が巡回して指導・啓発を行っています。 公園のトイレについては、多くの方々に快適にご利用いただけるよう、各施設の利用状況等を踏まえて、1日に1回以上清掃を行っており、引き続き、清潔で使いやすいトイレの維持管理に努めてまいります。